

介護は「2択」。～介護施設入居編①～

本日の講師

一般社団法人日本顧問介護士協会

代表理事 石間 洋美(いしま ひろみ)

介護福祉士、顧問介護士(仕事と介護の両立支援の専門家)、
医療福祉接遇インストラクター



一般社団法人日本顧問介護士協会

専務理事 西山 猛司(にしやま たけし)

顧問介護士(仕事と介護の両立支援の専門家)、仕事と介護の両立支援セミナー、各種介護セミナー講師



介護のある生活は「介護施設へ入居」か「在宅介護」のどちらかを選択(2択)しなければなりません。
今回は、介護施設に入居する場合の特徴、お金について見ていきましょう。



介護施設に入居する場合の主な特長は、①家族の介護負担がほとんどない。②経済的な負担が大きい。
この2つになります。一般的な介護施設は、365日24時間体制でサポートしてくれるため、家族が日々何かを
するということはありません。

つまり、介護施設に預けることができた場合、介護する側の家族(一般的には従業員)の生活や仕事にほとんど変化はありません。施設に入居する際は①見学②契約③入居(引っ越し)などの時間は必要になりますが、実際に入居したあとは、仕事と介護の両立にはほぼ影響がなく、当然介護離職にはつながらないということになります。ただその一方でお金がかかるということです。実際いくらかかるのか?全国的な平均費用として、一ヶ月あたり約20万円です。あくまでも毎月の平均費用ですが、介護施設に入居する場合は、このお金をどうするかあらかじめ考えておかないとあとで苦労します。親の貯金や年金で入居費用を賄えるのか?子どもたちがいくら負担することになるのか?など、そのようなことを事前に考えておく必要があります。

介護施設に入居した場合の特長



「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

監修・文責:一般社団法人日本顧問介護士協会 代表理事 石間洋美(介護福祉士)、専務理事 西山猛司



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 03-6737-7777 (代表)

www.axa.co.jp/

お問合せ先・担当者